



議員活動誌 パソコン版も合わせてご覧ください → 検索サイトで「やまさきゆうじ 京丹波町」をご検索ください
日々の議員活動をブログで綴っています ☆ 訪問者数 累計170万UU-毎月約1万5000人 累計516万PV

3月議会（令和6年第1回定例会）は、2月29日（木）から3月25日（月）までの26日間、開かれ、旧庁舎解体除却（地元区長さんと連携し、町に要望書提出）などを含む令和6年度予算案や企業版ふるさと納税（特例措置の延長を求める要望書を、北神圭朗衆議院議員に提出）に係る基金条例の制定、消防団員の出勤報酬創設（一昨年12月議会の一般質問で提案）に係る条例改正ほかを審議しました。なお、審議の概要および議決結果は「議会だより」をご覧ください。

一般質問

◎3月議会では11人が一般質問を行いました。◎本紙面では、私の一般質問に関して、詳細にふれていきます。

▼共同作業所 通所者 工賃アップに向けた後押しを

山崎裕二 町内3障害者共同作業所への通所者（生活介護、就労継続支援B型）の各人数は、また、近年の入所者・退所者の傾向とその理由は。

課長 1月末現在の利用状況は、丹波本所、瑞穂支所、和致支所の順で、生活介護5人、3人、3人、就労継続支援B型14人、14人、9人で合計48人の方が利用されています。近年の入所者の傾向は精神障害者の利用増、退所理由は一般企業への就職、転出による他事業所への移動、施設入所などです。
山崎裕二 作業所運営に係る運営費は。
課長 人件費も含めて、必要額を委託料として負担している状況です。
山崎裕二 作業所における就

労支援事業収入は年間どのくらいか。また、その内訳を具体的に列挙すると。
課長 令和5年度上半期の収入決算状況は約704万円で、内訳は、自主製品販売収入が112万円、民間企業からの受注加工収入が138万円、幹旋販売収入が239万円、清掃等の請負作業収入が73万円、アルミ缶回収が65万円、その他農作業等に係る収入が77万円と確認しています。

山崎裕二 作業所による販売会などの開催状況は。地域のなかでの活躍の場づくりのためにも、町として、目に見えるかたちでの支援を願うしていくべきでは。
課長 令和5年度は、5月には府障害者ふれあい広場スポーツフェスティバルや味夢の里、6月はきのことギャザリング、8月は和知ふるさとまつり、11月は上和知中部村まつりで、販売会を実施と確認しています。また、毎年度、町障害者就労施設等からの物品等の調達方針を定め、人権啓発物品や戦没者追悼記念品などで支援をしています。

山崎裕二 作業所連絡会および合同保護者会のそれぞれの開催状況と取り組み、会での協議内容は。

課長 連絡会は月1回程度、開催されており、連絡・確認事項や職員向け研修の検討、また、利用者の情報共有、ケース検討など、されています。また、保護者会は年1回程度の開催で、3月に合同保護者会として、司法書士による成年後見制度に関する講演や各支所の意見交流を予定されています。また、昨年度は、グループホームに入所されたご家族の体験談を聞く機会を設けられたとお聞きしています。

山崎裕二 生活介護事業と就労継続支援B型事業の機能分化に係る考え方は。
部長 機能分化によって、障害特性や程度に応じ、作業や部屋を分けることで、働き方の似通った集団において、相互に意識を高め合い、作業効率向上や利用者の精神状態の安定、ひいては工賃アップも期待されると考えています。他方、現在の施設や入所者数の状況では、機能分化への取り組みは難しいのが現状です。

山崎裕二 町内3共同作業所の施設老朽化への対応、耐震化、バリアフリー化といった施設整備の方針や車両更新あるいは施設統合の可能性などについて、社会福祉協議会と共有を深めていくべきでは。

町長 全体的に施設が老朽化しており、改善のご要望を聞いています。大きな課題であると認識しています。今後のあり方を含めて、検討していく必要があります。社協さんとは適宜、協議の場をもち、課題を共有し、将来的に運営体制をどうするのかという議論を行っている状況です。

山崎裕二 府内の就労継続支援B型事業所における平均工賃を、時間給で換算すると、いくらぐらいか。
課長 時間給で238円です。**山崎裕二** 年々、最低賃金は上昇しているが、作業所の工賃は据え置かれたままである。厚生労働省の求める工賃向上計画にもとづいて、安定した工賃支給と工賃引き上げに向けて、町として、いっそうの後押しを行っていくべきでは。

部長 物品等調達方針にもとづいて、物品や記念品の調達、公園等の清掃委託を継続し、安定した工賃支給の後押しを行いたいと考えています。
山崎裕二 庁舎、支所の一角に、アルミ缶回収場を設置し、共同作業所による回収量増加の仕組みを構築しては。
部長 回収に係る人員や既設の回収場所との関係などもあると思いますので、作業所からの要望をお聞きしましたら、検討いたします。

急に打ち出していくべきでは。
町長 設立に関心をもちたれている法人もあり、協議を継続していますが、スタッフや収益確保などの面から、今すぐに新たなグループホームの整備ができる状況には、残念ながらありません。また、現時点では、支援策の創設は検討していませんが、引きつづき、様々な観点から調査研究を行っています。

山崎裕二 町外の企業が、町内にオフィスや事務所などを賃貸借し、進出する場合、投下固定資産などにもとづいて、奨励金を交付する町企業立地促進条例に該当しない。しかし、新規で、町内在住の常用雇用などがある場合、その効果は小さくないと較量する。他市町村の事例などを参考に、例規を改正し、賃貸借料や施設整備・改修費などに対する企業立地奨励金「賃貸借型」を追加するとともに、雇用促進奨励金の準用も行い、企業誘致・企業立地を多角的に図っていくべきでは。

課長 現行条文では、対象外となっておりますことから、今後、企業誘致を進めていくなかで、昨今の企業風土の変遷やニーズを把握し、先進自治体の事例を調査するなど、条例改正の研究も進めていきたいです。

【裏面もご覧ください】



【表面もご覧下さい】

いと考えています。なお、雇用促進奨励金は奨励事業者の指定を要件としており、対象になり得ると考えています。

山崎裕二 町内産の木材を使った施設整備や改修、いわゆる木質化リノベーションに対して、奨励金を上乘せし、森林資源と共生した町の姿勢を鮮明にしては。

町長 府内産木材を使用した民間建築物整備に対し、府からの支援があります。町内産材を使用した場合の上乗せ補助は、府と連携しながら、検討していきます。

▼病児保育 課題への即応を

山崎裕二 京都市部総合医療センターによって管理運営されている病児保育室 ひまわりの登録者数と利用者延数は、**課長** 1月末現在の登録者数は117人(町3人)、利用者は延数は63人(町2人)です。**山崎裕二** 病児保育のニーズや町子ども園との関連などを、どのように把握し、事業に反映しているのか。課題への即応はできているのか。

課長 セーフティネットの観点から、保護者が安心して、子育てできる環境を提供することを目的としています。事業の周知をさらに図るとともに、ニーズを把握しながら、効果的に役割を果たしていきます。

山崎裕二 病児保育の条件、物理的な距離、利用時間、料金など、利用のしにくさ・しづらさを解消するための方策を吟味していくべきでは。**部長** より充実した事業とするため、関係機関と連携を図りながら、病児保育の運営や行政支援などの検証をつづけていきます。

山崎裕二 町内で唯一、小児科診療が可能な国保京丹波町病院と連携した病児保育のあり方を勘案していくべきでは。**部長** かかりつけ医により、病児保育が利用可能かを診断いただいで、連携することは、利用者にとって、有用であると考えています。また、そこには至っていませんが、利便性の向上に向けて、亀岡市、南丹市と連携して、医師会との調整を図っていきます。

山崎裕二 病児保育送迎対応事業の実施も検討すべきでは。**部長** 人材確保や実際の利用人数などの把握も必要となります。今後、病児保育に対するニーズがますます高くなることを考えますので、関係機関とともに、他市町の状況や保護者の方のニーズなどを調査研究していきます。

▼道の駅 京丹波 味夢の里 地盤改めでの点検を

山崎裕二 トラス構造の上屋(交流広場)は、不同沈下などによって、アンバランスな歪みが生じた場合、倒壊の危険性も内包しているのではと

一抹の不安を覚える。災害時には、地域の防災拠点としての活用も視野に入れていいることから、専門機関による改めの点検(科学的見地からの検証)を行うべきでは。**課長** トラス構造という、やや専門性の高い建築物であると認識しており、安全性の担保という観点から、上屋テント屋根構造調査業務としての予算を上程しています。

山崎裕二 町内の食品工場などでつくられた食品が学校給食の献立のなかに用いられているケースはあるのか。**課長** これまで、町内食品企業の加工品を学校給食の献立に用いたことはありませんでしたが、学校給食創造事業の取り組みのひとつとして、地域の石井食品と町産食材を使った学校給食用加工品の共同開発を進め、3月1日、看板商品のチキンハンバーグを学校給食で献立としました。

▼給食 町内の食品工場 製造の食品使用の推進を

山崎裕二 学校給食において、町内の食品工場などでつくられた食品の使用を推進していくべきでは。すでにされているのであれば、今後、いっそう推進していくべきでは。**教育長** 今後、まずは地元企業の加工品を給食に採用できるかどうかや、他の企業も含めた地元食材を使った給食用加工品も、引きつづき検討していきたいと思っています。

山崎裕二 学校給食の予定献立表において、町内の食材を太字で表示するなど、地産地消の状況が判然となる工夫が凝らされている事例が確認できる。食の町のさらなるPR、愛着の高まりを目指して、町内の食品工場などで製造された食品についても、学校給食食品の原材料明細にとどまらず、予定献立表においても、一目瞭然となるようにしては。**教育長** 町の食材、地元企業の加工品を、給食だよりなどを通じて、周知する取り組みを引きつづき進めていきます。

▼公務員デザイナーの配置を

山崎裕二 まずもって、地方公共団体の大多数は、デザイナーの力を活かせていないと言われている。これはデザイナーを狭義にしか、把握していないことに起因すると察するが、町におけるデザイナーの定義およびデザイナー思考の捉え方は。**町長** デザイン思考は、人材育成において、的確に住民ニーズを把握し、良質なサービスを提供するための重要な手段のひとつです。デザイナーは地域課題の解決や創造的な解決策提供のひとつの手法であり、地方公共団体においては、サービスシステム、空間、製品など、様々な場面で適用できると考えています。サービス利用者側に立った考え方を重視した方法論でもあり、そうした考え方を身に付

けることによって、柔軟性が生まれてくると思っています。また、時代の変化に応じた解決策が提供できる非常に有益な考え方であり、町では、他の市町村に先行して、こうした考え方を、しっかりと習熟していきたいと考えています。**山崎裕二** 町の将来に、デザイナー思考をどのように活かし、浸透させていくのか。**町長** 住民ニーズを把握するために、ワークショップやアンケート調査などを実施することで、定性・定量の両面から情報を収集し、解決に向けたひとつの仮説を立て、実証し、結果をふまえて、再度もう一度、仮説を立てると、その繰り返しで施策化、具現化していくということだろうと思っています。この地道で粘り強い取り組みこそが、デザイナー思考であろうと思っておりますし、多様な地域課題の解決に活用できると思っております。そして、それを官民連携組織「京丹波イノベーションラボ」など、多様な人員構成の組織で、少しずつ浸透を図っていくことが重要であろうと思っております。問題を解決するために、思考や概念の組み立てを行い、それを様々な媒体に応じて、表現することで、多様化する住民ニーズに対応できる質の高い行政運営につながっていくと考えています。

山崎裕二 デザイン思考を活用した業務、なかでも、計画・戦略策定など、専門性の高い分野について、外部人材・コンサルタントに依頼・委託することがあったとしても、どちらが手綱(主導権)を握っているかがきわめて重要である。職種規定(事務分掌)のなかに、デザイン職、すなわち、公務員インハウスデザイナーを置くことによって、デザイン業務において、公務員としてのデザイナーが考案する実務的なメリット、費用対効果を含め、果たす役割は絶大であると見積もる。タウンプロモーションの推進・加速、シビックプライドの喚起・醸成を目指して、一橋大学の齋田祐一教授が提唱する公務員デザイナーの確固たる位置づけ(ポジションング)を検討しては。**町長** デザイン思考にもとづく業務遂行によって、町行政全体が非常にハイセンスな展開になると思っております。そのような考え方を習熟できるよう、職員の研修受講を促し、1回だけの研修だけでなく、継続的に何回も研修して、スキルアップを図っていくことが大切と考えます。また、必要がある場合には、専門的な事業者の活用なども考えて、より効果的な方法を、これからも検討していきたいと思っています。

【最後までお読みいただき、ありがとうございます】

山崎裕二 デザイン思考を活用した業務、なかでも、計画・戦略策定など、専門性の高い分野について、外部人材・コンサルタントに依頼・委託することがあったとしても、どちらが手綱(主導権)を握っているかがきわめて重要である。職種規定(事務分掌)のなかに、デザイン職、すなわち、公務員インハウスデザイナーを置くことによって、デザイン業務において、公務員としてのデザイナーが考案する実務的なメリット、費用対効果を含め、果たす役割は絶大であると見積もる。タウンプロモーションの推進・加速、シビックプライドの喚起・醸成を目指して、一橋大学の齋田祐一教授が提唱する公務員デザイナーの確固たる位置づけ(ポジションング)を検討しては。